

高齢者センターの浴場の一日も早い再開と

土曜閉館の撤回を求める陳情

逗子市議会

議長 菊池 俊一様

高齢者センターの浴場が昨年6月から使用できなくなり、現在に至っております。私たちは「高齢者センターの浴場存続を求める会」のみなさんと協力し、署名活動を行い、短期間に2千数百名の署名を集めて市議会に陳情書を提出しました。陳情は9月6日の教育民生常任委員会において全員一致で了承され、大変勇気づけられました。

逗子市も年々高齢化率が高くなっております。長寿社会の中、健康寿命＝「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」が注目されています。元気な高齢者を増やしてゆくことは国も地方も施策の重要課題になっていると思います。健康寿命の長い高齢者が多くなることは医療・介護保険財政上でも街の活性化でも大きなプラスになります。

高齢者センターは逗子市で唯一の高齢者の交流、活動の施設であり、元気のパワースポットとなっています。より多くの高齢者に利用されるよう施設の充実こそ求められますが、後退はとても残念なことです。浴場の一日も早い再開は喫緊の課題となっています。

また 土曜日の閉館は利用を狭めることとなります。現在でも会場の抽選日には多くのサークルが参加し、会場不足を痛感させられているところです。

よって以下の陳情をいたします。

- 1、浴場を一日も早く再開すること
- 2、土曜閉館は実施しないこと

以上

2018年1月22日

全日本年金者組合逗子葉山支部

支部長 渡辺 勝美

逗子市池子2-19-1146

